

第139回日商簿記2級 第1問 仕訳問題類題 問題・解答

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適当と思われるものを選ぶこと。

現 金	当 座 預 金	普 通 預 金	定 期 預 金
売 掛 金	受 取 手 形	買 掛 金	支 払 手 形
未 収 入 金	仮 払 法 人 税 等	未 払 金	貸 倒 引 当 金
修 繕 引 当 金	資 本 金	資 本 準 備 金	繰 越 利 益 剰 余 金
建 物	機 械 装 置	建 設 仮 勘 定	建 物 減 価 償 却 累 計 額
機 械 装 置 減 価 償 却 累 計 額	土 地	長 期 前 払 費 用	売 上
仕 入	減 価 償 却 費	広 告 宣 伝 費	修 繕 費
租 税 公 課	受 取 利 息	支 払 利 息	固 定 資 産 売 却 益
固 定 資 産 売 却 損			

1. 既存の営業所の増築工事について、4回に分けて各 ¥ 5,000,000 を分割支払いする建設工事契約を締結し、それぞれ建設仮勘定に計上している。これが完成して最終回の支払いを普通預金から行い、また、建設工事代金の総額 ¥ 20,000,000 を、建物と既存の営業所の修繕費 ¥ 1,000,000 に振り替えた。
2. 看板広告の設置に関する契約を締結し、今後2年分の広告費 ¥ 1,800,000 を当座預金から支払ってその総額をいったん資産に計上し、さらに計上した資産から当月分（1か月分）の費用の計上を行った。
3. 定期預金（半年満期、年利率0.5%）¥ 10,000,000 を銀行に預け入れていたが、この定期預金が満期となった。この満期額に、仮払法人税等に計上する源泉所得税（20%）控除後の受取利息手取額を加えた金額を、さらに半年満期の定期預金として継続した。
4. 保有する機械装置について定期修繕を実施し、修繕費用 ¥ 9,000,000 が当座預金から支払われた。この修繕については、前期までに引当金 ¥ 8,000,000 が設定されていた。
5. 土地の取得原価に含める不動産取得税 ¥ 500,000 の納税通知書と、固定資産税 ¥ 1,100,000（4期に分けて分納）の納税通知書を受け取り、これらを未払計上した。

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	建設仮勘定	5,000,000	普通預金	5,000,000
	建物	19,000,000	建設仮勘定	20,000,000
	修繕費	1,000,000		
2	長期前払費用	1,800,000	当座預金	1,800,000
	広告宣伝費	75,000	長期前払費用	75,000
3	定期預金	10,020,000	定期預金	10,000,000
	仮払法人税等	5,000	受取利息	25,000
4	修繕引当金	8,000,000	当座預金	9,000,000
	修繕費	1,000,000		
5	土地	500,000	未払金	1,600,000
	租税公課	1,100,000		